

## メキシコ政治情勢（12月）

### 〔概要〕

#### 【内政】

- 1日、ロペス・オブラドール大統領は、就任2年記念演説を実施。
- 1日、「エル・フィナンシエロ」紙が月例世論調査を発表。「ロ」大統領の支持率は64%で、先月に比して5%増加。
- 2日、「ロ」大統領は、ロモ大統領府長官の辞任を発表。
- 7日、経済相他、5名の政府高官人事が発表。
- 15日、連邦議会両院で、国家安全保障法改正案が承認。
- 20日、墨国軍が、各種インフラ建設事業を担当するための国営企業設立を発表。
- 21日、「ロ」大統領は、次期公共教育相を指名。
- 22日、制度的革命党（PRI）、国民行動党（PAN）、民主革命党（PRD）が2021年の連邦下院議員選挙に向けた野党連合の結成を発表。

#### 【外交】

- 7日、メキシコとインドネシアの第7回二国間政策協議が開催。
- 11日、墨政府は、墨国内産人工呼吸器をカリブ諸国に贈与。
- 11日、「ロ」大統領は、第15回太平洋同盟首脳会合に出席。
- 15日、「ロ」大統領は、バイデン次期米国大統領の当選への祝意表明書簡を發出。
- 15日、メキシコと英国は、貿易継続協定に署名。
- 16日、「ロ」大統領は、モクテスマ公共教育相を次期駐米大使に指名。
- 21日、国際刑事裁判所の裁判官に、メキシコのフローレス候補が当選。
- 23日、米ファイザー社製の抗新型コロナウイルス・ワクチン第一便がメキシコに到着。

#### 【内政】

##### 1 大統領就任2年記念演説を実施

1日、「ロ」大統領は、就任2年を記念して国立宮殿で演説した。同演説の中で「ロ」大統領は、第四次変革の実施に向けた基礎固めは概ね整ったとし、就任時に発表した100の公約のうち97を達成したと述べた（未達成の3つの公約は、連邦政府省庁の地方分散、再生可能・クリーンエネルギーへの転換、アヨツィナパ事件の解明であるとした）。また、墨国民の71%が自身を支持しているとし、野党・反対派との関係維持よりも、感染症対策及び経済の回復を優先する考えを表明した。他方、2021年はテノチティラン（メキシコ市）建設700周年、スペインによる征服500周年、メキシコ独立達成200周年に当たるところ、予定される記念事業について紹介した。

## 2 大統領支持率等に関するエル・フィナンシエロ世論調査

1日付当地エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率及び明年の諸選挙における投票意思等に関する世論調査結果を発表した。11月14日及び27～29日に、有権者820名を対象に電話調査形式で実施。誤差±3.4%。\*を付した質問は、27～29日に有権者410名を対象に実施。今次調査において、「ロ」大統領の支持率は前回に比して5%増。

(1) ロペス・オブラドール大統領の政治運営を支持するか。

- ・支持する：64%（前回調査時（10月中旬、以下同じ）は59%）
- ・支持しない：33%（前回38%）

（注）直近4代の大統領を比較すると、同時期（就任2年時点）での支持率は、カルデロン元大統領と並び首位。

(2) 倫理規範に基づき、愛、容赦、贖罪等の価値を政府が促進していることを支持するか（\*）。

- ・支持する：64%
- ・支持しない：22%

(3) 以下の「ロ」大統領に期待される特質について好評価するか。

- ・誠実さ：60%（前回（10月、以下同じ）54%）
- ・リーダーシップ：50%（前回51%）
- ・結果を出す能力：37%（前回39%）

(4) 「ロ」大統領が、米大統領選で勝利が確定したバイデン次期大統領に依然として祝意表明していないことを評価するか（\*）。

- ・評価する：44%
- ・評価しない：34%

(5) 「ロ」大統領と「バ」新大統領の関係はどのようなものになると思うか。

- ・良いものになる：30%（前回（10月、以下同じ）28%）
- ・普通：50%（前回29%）
- ・悪いものになる：10%（前回15%）

(6) 各分野に関する「ロ」政権の政策を評価するか。

・汚職との闘い

- 評価する：39%（前回（10月、以下同じ）45%）
- 評価しない：37%（前回36%）

・治安対策

- 評価する：28%（前回28%）
- 評価しない：54%（前回56%）

・保健分野

- 評価する：35%（前回36%）
- 評価しない：37%（前回40%）

- ・経済分野
  - 評価する：25%（前回24%）
  - 評価しない：49%（前回53%）
- ・教育分野
  - 評価する：41%
  - 評価しない：37%
- ・雇用分野
  - 評価する：20%
  - 評価しない：51%
- ・女性殺人対策
  - 評価する：11%
  - 評価しない：55%

### 3 「ロ」大統領がロモ大統領府長官の辞任を発表

2日、「ロ」大統領は、自身のツイッター上でロモ大統領府長官の辞任を発表した。大統領は、ロモ長官の献身的な職務活動に謝意を表するとともに、引き続きロモ氏は政府と民間部門の橋渡し役を務めること、ロモ長官の任期は元々2年間で想定されていたこと、及び大統領府長官の職は今後空席となることを発表した。

### 4 5名の政府高官人事が発表

7日、「ロ」大統領は、早朝記者会見でタティアナ・クルティエル下院議員を新経済相に、ガリア・ボルハ女史を墨中銀副総裁に、グラシエラ・マルケス経済相を国立統計地理情報院（INEGI）理事にそれぞれ指名し、運輸通信省港湾管理調整官及び大蔵公債省連邦会計局長官を含め、計5名（全員女性）の政府高官人事を発表した。

### 5 連邦議会で国家安全保障法改正案が承認

15日、大統領提出法案である国家安全保障法改正案が連邦議会両院で承認された。同法の今次改正により、「外国エージェント」（出身国で警備、安全保障等の公的職業に就いている者で、治安対策協力協定等に基づきメキシコに派遣されている者）の墨国内での活動に規制が設けられる。発端は、10月のシエンフエゴス前国防相の拘束に関して、米側からの事前報告がなかったことであり、改革の主たる狙いは、米国麻薬取締局（DEA）やその他米国のエージェントに対する情報共有の要求と指摘されている。具体的な改正内容として、第一に、大使館等の在墨外交使節は、メキシコとの二国間安全保障協定に沿って行われた業務においてメキシコの国家安全保障に関わる個人情報を知った場合、墨当局に情報を通報しなければならない旨の規定、第二に、メキシコの全公務員は、「外国エージェント」と会合する場合、連邦政府に会合の許可を申請し、会談から3日以内に墨外務省と治安・市民保護

省に会合の報告書を提出しなければならない旨の規定、第三に、外国エージェントが武器を携行するための条件、外国エージェントの活動に対する墨政府の監視内容の強化、外国エージェントの墨国内での容疑者の逮捕の禁止等が挙げられる。

#### 6 墨国軍の各種インフラ建設事業のための国営企業を設立

20日、「ロ」大統領は、墨国軍が各種インフラ建設事業（マヤ鉄道の3区間、メキシコ南東部（トゥルム、チェトゥマル、パレンケ）空港、メキシコ市サンタ・ルシア空港等）を担当する上で、同事業が円滑に管理されるよう、また、同事業が民営化されないよう、国軍に所属する国営企業を設立すると発表した。同国営企業の売上は、軍の年金及び事業が行われる地域の安全、警備等に充てられる。

#### 7 次期公共教育相の指名

21日、「ロ」大統領は、駐米大使に指名したモクテスマ公共教育相の後任にデルフィナ・ゴメス女史を指名したと発表した。ゴメス女史は初等教育教師としての職歴が長く、メキシコ州政府教育部門に勤め、2017年メキシコ州知事選では国家再生運動（MORENA）公認候補として出馬した。ゴメス女史の指名により、現政権の閣僚18名のうち9名が女性となる。

#### 8 PRI、PAN、PRDが2021年連邦下院議員選挙に向けた野党連合結成を発表

22日、PRI、PAN、PRDの各党首は、2021年の連邦下院議員選挙に向けて共通候補者を擁立するための合意に署名した。この三党がこのように広範な連立を組むことは史上初であり、2021年6月6日の選挙に向け、市民社会組織とも連携する予定とされる。各党の党首らによると、連合の目的は、現在与党MORENAが連邦下院で有する多数派の地位を奪うことである。野党連合は、「ロ」大統領の反対勢力である市民組織「Sí por México」を取り込み、「Va por México」と名付けられ、177の共通候補者を擁立する方針に合意した。これらの3党は、党員以外の候補者を擁立することも可能である。

### 【外交】

#### 1 メキシコ・インドネシア二国間政策協議が開催

7日、第7回メキシコ・インドネシア二国間政策協議がオンライン形式で開催された。協議では、両国間の主要な議題が議論され、引き続き友好協力関係を強化することが再確認された。協議は、墨外務省アジア太平洋局長とインドネシア外務省欧州・米州局長が共同議長を務め、メキシコ輸出産品へのハラル証明書、漁業協力、教育、文化、及び創造的産業等における法的枠組を強化することで合意した。

#### 2 墨政府が墨国内産人口呼吸器をカリブ諸国に贈与

11日、墨外務省は国際協力開発庁（AMEXCID）を通じ、純国内産人工呼吸器の初回贈与便をアンティグア・バーブーダ、ベリーズ、ガイアナ、ハイチ、ドミニカ共和国、セントルシア、スリナム及びトリニダード・トバゴに送付した。駐墨ドミニカ共和国大使は、カリブ諸国を代表し、「ロ」大統領の「姉妹国への堅固なコミットメント」への謝意を表した。

### 3 大統領の太平洋同盟首脳会合出席

11日、オンライン形式で開催された太平洋同盟首脳会合に、チリ、コロンビア、ペルーの大統領らと共に「ロ」大統領が出席した。エブラル外相及びマルケス経済相の同席の下、「ロ」大統領は、加盟国間の経済、社会、文化及び貿易関係を強化する重要性を強調した。また、新自由主義モデルの無能性と、国民やマイノリティに対して与えた悪影響を再考することの重要性を訴え、公的保健システムを喪失してはならないと述べ、感染症拡大による経済危機において、墨政府は最も影響を受けた国民を救済する決定をしたと付け加えた。さらに、太平洋同盟準加盟国としてシンガポールとエクアドルが新たに参加することを歓迎した。

### 4 「ロ」大統領がバイデン次期米国大統領への祝意表明書簡を发出

14日、「ロ」大統領は、「バ」次期米国大統領に対し当選の祝意を表明する書簡を发出し、15日、同書簡がエブラル外相のツイッター上で公表された。両者が9年前に出会って以来、「ロ」大統領は「バ」次期大統領に対し、メキシコを変革する理想、並びに不平等及び暴力の主な原因である政治的汚職を撲滅する意思を伝えてきたと述べ、墨米両国は隣国としてつながっており、歴史的、経済的、及び文化的に両国民は兄弟関係にあるとした。また、両国の指導者は、協力、友情、及び主権の尊重に基づく良好な二国間関係の維持に努めなければならないとし、不干渉及び民族自決原則を引き続き適用できると確信している旨記載した。加えて、「バ」時期大統領のメキシコ及び世界からの移民に対する好意的な姿勢を評価しているとし、米国による中米統合的開発計画への継続的な協力に対する期待を述べた。

### 5 墨英両国が貿易継続協定に署名

15日、マルケス墨経済相とロバートソン駐墨英国大使は、両国間の自由な貿易の流れを維持する貿易継続協定に署名した。本協定により、英国のEU離脱以後も、墨英間において墨EU間の自由貿易協定と同様の貿易枠組（市場アクセス、規律等）が維持される。

### 6 モクテスマ公共教育相を次期駐米大使に指名

16日、「ロ」大統領は、近く定年退官するバルセナ駐米大使の後任として、モクテスマ公共教育相を指名した（公共教育相の後任指名については、上記内政の5ご参照。公共教育相の交代、次期駐米大使の着任日等は未定）。

#### 7 国際刑事裁判所の裁判官にメキシコのフローレス候補が当選

21日、国際刑事裁判所の裁判官（2021～30年期）にメキシコのフローレス候補が当選した。墨外務省はプレスリリースを発売し、メキシコの女性司法官が同ポストに就任するのは、同裁判所設立以来前例のない快挙であるとした。

#### 8 米ファイザー社製ワクチンがメキシコに到着

23日、米ファイザー社製の抗新型コロナウイルス・ワクチン第一便（3,000ドース）がメキシコ市国際空港に到着した。24日の大統領定例早朝記者会見でワクチン接種計画が発表され、医療従事者から順に接種が開始された。2021年1月末にかけて、合計約136万ドースが到着する予定（注：1月12日現在、合計54万6,975ドースが到着済）。

（了）